



明治30年創刊の「河北新報」を日々印刷・発送

既存空冷ヒートポンプ温水機から更新。
環境負荷性能への期待はそのままに更なる省エネ化を図っています。

空冷ヒートポンプ温水機

給湯熱源機更新



キュートン導入後
電気容量降下も実現
200A → 100A
電気使用量の削減

圧倒的な高性能・高効率

-25℃ → 90℃
極寒でも 熱湯給湯

-7℃ → 100%
寒くても 能力低下なし

年間加熱効率：4.0!
ボイラーより高効率

住所：宮城県仙台市
施行年月：2013年12月

お客様の声

CO₂削減効果を求める、環境負荷軽減への貢献は、基本路線。
キュートン導入の決め手は、冬期の安定給湯と、さらなる省エネ化、既設タンク流用によるイニシャルコストの安さでした。



河北新報印刷株式会社 業務部
佐々木 貴志様

CO₂削減への貢献は必須

環境負荷軽減は、当社企業グループにおける合い言葉。当印刷センター設立当時にも、環境負荷を考慮し、ボイラーと比べてCO₂排出量が少ない空冷ヒートポンプ温水機が導入されました。しかし、経年と共に設備も劣化し、機器の入替検討時に、エコキュートで東北電力(株)推薦機の、自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機「キュートン」を設備業者様より紹介していただきました。



冬期安定給湯と省エネ性・経済性

キュートンは、極寒下での運転効率に格段の優位性があり、冬期の安定給湯と、通年での省エネ化に期待できるとの設備業者様の紹介の通り、冬期平均気温が氷点下を下回るこの地区でも、実際にキュートン導入後は、期待通り、冬期安定給湯と通年省エネ化を図ることができています。

イニシャルコストの低減も成功

またイニシャルコストの軽減が図れるという点も、キュートン導入の決め手となりました。既存設備からの更新工事であるため、設備切替時の難点(熱源機と既設タンクの高低差への接続配管に技術検討が必要)もうまく解決でき、既設の貯湯タンクを流用することができました。

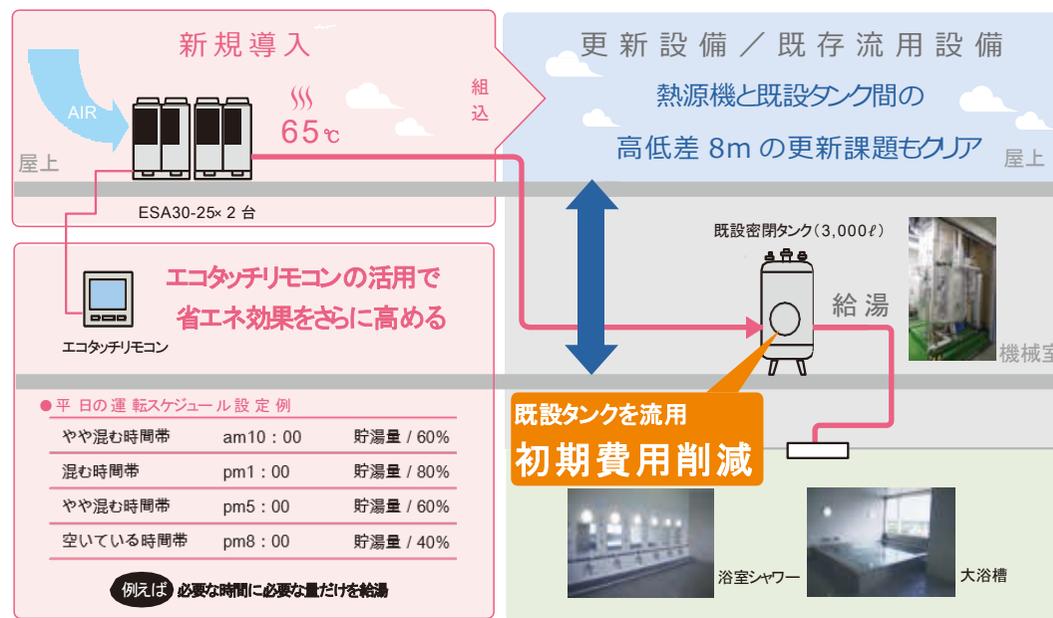
エコタッチリモコンを活用

また、キュートンの運用面においても、キュートンのエコタッチリモコンにある運転スケジュール設定を活用することで、省エネ性を高めることができています。



導入システム図

既設タンクを流用した給湯システムを、キュートンで構築、更新。



詳細はこちら